



福原 誠司
福原 誠司



「創年」の力でまちづくり

「創年」の力でまちづくり。これは、袋井市が取り組んでいるまちづくりのキーワードです。この取り組みは、市民の力を結集し、まちをより良くしていくための重要な取り組みです。

学習舎

学習舎は、地域の子どもたちが安心して学習できる場所を提供しています。また、地域の人々も参加できる学習環境を整えています。

人間関係を大切に



山口 昭美さん

人間関係を大切にすることは、社会生活において非常に重要です。互いに尊重し合い、協力し合うことで、より良い社会を築くことができます。

自分の人生伝えて



村田 朝子さん

自分の人生を伝えることは、後世に教訓を残すだけでなく、自分自身の生き方を振り返る機会でもあります。

子どもが主役

絶対的な評価必要



原田 英之氏

子どもが主役である教育環境を整えるためには、絶対的な評価が必要です。子ども一人ひとりの個性を尊重し、伸ばしていくことが大切です。

全国に先駆け「子ほめ条例」

袋井市は、全国に先駆け「子ほめ条例」を制定しました。これは、子どもを褒めることで、その成長を促すことを目的としています。

新たなパワー

新たなパワーは、市民の力を結集し、まちづくりを進めるための重要な要素です。



コーディネーター
原田 誠治
静岡新聞社

原田 誠治氏は、静岡新聞社のコーディネーターとして、今回のシンポジウムを企画・運営されました。



（左）パネリストらとコーディネーターらによるディスカッションの様子



パネリストらとコーディネーターらによるディスカッションの様子

11月5日
11月5日